

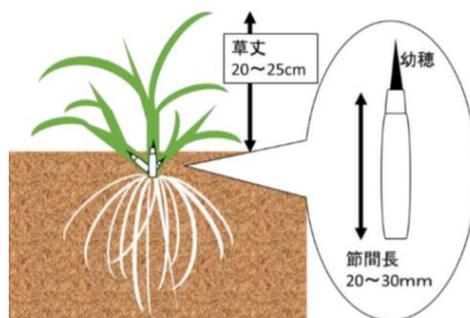
大麦（はるか二条）栽培情報 2月号

令和8年1月19日
J A 柳 川
南筑後普及指導センター

1 麦踏み

3葉期以降、2月中旬頃の節間伸長前までに3～5回程度行います（生育に応じて麦踏みの晩限は前後します）。生育旺盛なほ場では、1～2回多めに実施します。

ほ場が湿っていると、土壌を締め付け、麦の生育を抑制するため、十分乾燥した状態で行います。



麦踏み晩限：草丈 25cm 程度

2 土入れ

倒伏防止や排水対策、雑草防除に有効で、3月上旬頃までに2～3回程度実施し、麦の生育に応じて土の量を調整します。土塊が大きくなるよう、麦踏みと同様に土壌が乾燥した状態で行います。

なお、できるだけ麦踏み前に実施し、麦が土に埋もれないようにします。（麦踏み後に実施する場合は生育が回復するまで空けます）



土壌が乾燥した状態で実施

3 排水対策

麦は湿害に弱く、排水不良田では根傷みや生育ムラ、枯熟れ等が生じ、収量や品質に影響します。

降雨後の排水を促すため、排水溝の整備や土入れを行います。

枕地と落水口をつないでいないほ場では、枕地で滞水して湿害が発生しやすくなるため、必ず枕地をとおすように作溝します。



枕地をとおして落水口へつなぐ

4 追肥

出芽が揃っているほ場では、基準量の追肥を1月下旬頃に行います。

なお、出芽が1月上旬頃まで遅くなったほ場や、深播き等で出芽の揃いが悪いほ場では追肥一発肥料を使用せず、2月下旬～3月上旬に生育に応じて、NK化成2号を10～20kg/10a程度施用します。

5 雑草防除

発生している雑草の種類に合う薬剤の選択が重要です。ほ場の雑草を確認し、こよみや下記を参考に雑草防除に取り組みましょう。また、薬害防止と除草効果安定のため、薬剤散布直前～散布後1週間以内の麦踏み・土入れは避けます。

薬剤名	適用雑草	使用時期	10a 当たり 使用量	備考
エコパート フロアブル	一年生 広葉雑草	節間伸長開始期まで (広葉雑草：2～4葉期) (ヤムガラ：2～6節期) (収穫45日前まで)	50～100ml (水100L)	<ul style="list-style-type: none"> ・使用回数：2回以内 ・<u>ヤムガラ</u>に効果が高い ・カラスノエンドウへの効果は劣る

※ハーモニーDFの大麦での登録は、節間伸長前までのため、茎立ちが始まると使用できません。



〈ミチヤナギ〉



〈カラスノエンドウ〉



〈キンポウゲ類(トゲミノキツネボク)〉

農薬使用上の注意

- 1 散布前に必ず農薬ラベル(①適用作物、②使用量や希釈倍数、③散布時期や総使用回数、④有効期限)を確認!
- 2 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止対策を徹底!
- 3 散布後は必ず散布器具(タンク、ホース等)を洗浄!
- 4 防除履歴の正確な記帳!